

古都祝奈良2026-2027 事業計画(案)

KOTO
HOGU
NARA

ことほぎ
なら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

□ 令和8年度 主な事業

- ◆ 古都祝奈良の時空旅行
- ◆ 古都祝奈良の学校
- ◆ グリーン・マウンテン・カレッジ
- ◆ 東アジア国際シンポジウム

令和8年度 事業概要(1)

●古都祝奈良の時空旅行

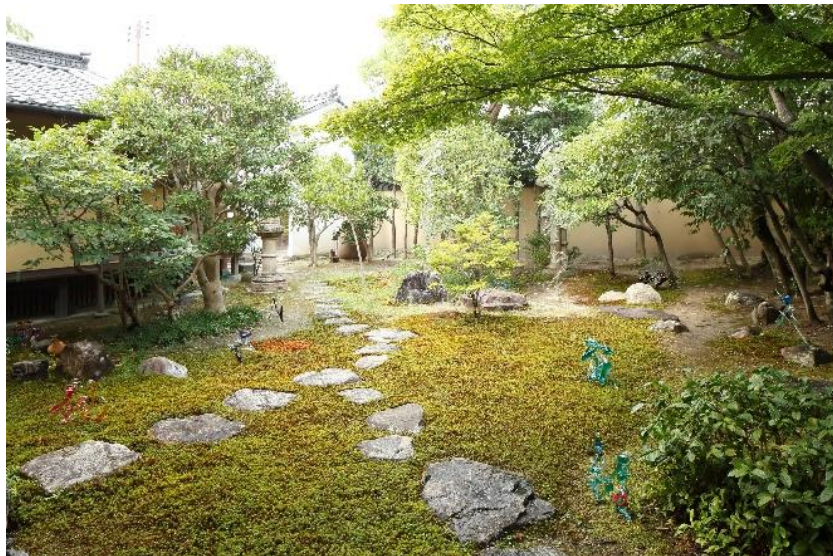
中世



近代



現代



各時代を表す場所で、アートインスタレーション展示や各種ワークショップ、演劇イベント等を実施。ツアー化し、奈良の歴史文化を一挙に周遊。

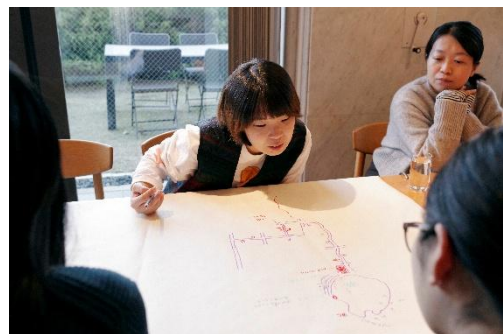
東アジア文化都市10周年記念
文化の多様性・包摂性のルーツを再確認する
文化芸術観光ツアー

- ・ 東アジア文化都市2016奈良市のコア企画「古都祝奈良－時空を超えたアートの祭典」の理念を継承し、古代奈良の寛容性・多様性・交流の精神を、現代の表現活動を通して問い直すプログラム。
- ・ 古代・中世・近世・近代・現代、そして未来へと連なる時間層が、同時に実在する奈良市。それぞれの時代性を色濃く残す空間を舞台に、アートプログラムや市民の文化芸術活動を展開。
- ・ 来場者は、各時代を象徴する複数の会場を巡りながら、展示、演劇、市民活動との出会いを通して、奈良の時間を“移動する”体験を得る。

【とき】 令和8年10月～11月の1～2週間程度

令和8年度 事業概要(2)

● 古都祝奈良の学校



プログラムディレクションチーム

小山田 徹 (美術家・京都市立芸術大学学長)

藤 浩志 (美術家・秋田公立美術大学教授、
NPO 法人アーツセンターあきた理事長)



「教科書をつくること」と
「奈良で若手アーティストの活動の場を開くこと」を目的とした
3年間限定のプロジェクト

- ・奈良で新たな表現を目指す人向けに、ワークショップを実施する。
- ・3年間の事業の3年目として、参加者が展示プランやワークショップ案の構想を発表。
- ・同時に、新しく奈良でアート活動をする際の手引きとなる「教科書」を発行する。

【とき】 夏～秋期

【会場】 ならまちセンター

令和8年度 事業概要(3)

●グリーン・マウンテン・カレッジ

テーマごとにさまざまなゲストを迎え、参加者とともに小さな火を囲む「学び合いの場」

校長：小山田 徹（美術家・京都市立芸術大学学長）

【とき】秋期 【会場】ならまちセンター

- 平成30年度から実施し、9年目を迎える継続事業。ゲストと市民・集った人々とともに、テーマを語らう。他のプログラムとの連動を予定。



●東アジア国際シンポジウム

古都祝奈良の時空旅行開催に合わせて、東アジアの多様性・包摂性を再び考えるシンポジウム。

- 時空旅行で招聘した海外アーティストや専門家を交えて、シルクロードから奈良への文化受容の歴史を再認識。
- 2030年に予定される「八条・大安寺地区のまちびらき」も見据え、アートと新しいまちの融合・発展がどのような可能性を持ち、今後開けていくかを議論する。

【とき】秋期
【会場】ならまちセンター

